



Groundsmaster® 3400 4 輪駆動トラクションユニット、 LT3340 ヘビーデューティトリプルターフモアトラクショ ンユニットおよび LT-F3000 ヘビーデューティトリプル ターフフレールモア

モデル番号30651—シリアル番号 403303793 以上

モデル番号30657—シリアル番号 403288770 以上

モデル番号30659—シリアル番号 404662987 以上

補遺

上に挙げたモデルを牽引する必要が生じて前ホイールモータ内部の油圧を解放する場合、既刊のオペレーターズマニュアルの説明と異なる手順が必要となります。上記各モデルの油圧を解放手順は以下の通りです。必要に備えてこの文書は大切に保管してください。

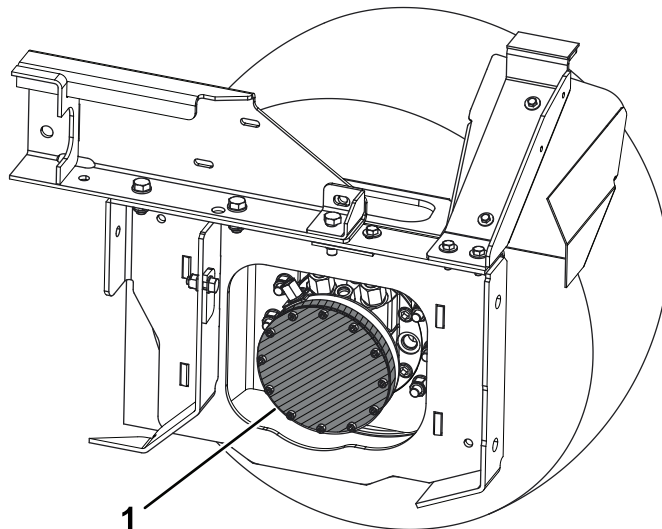
牽引に使用する車両が牽引のための十分な能力、および牽引される側の車両を含めた全体を十分に制動できるブレーキ能力を備えていることを確認する。牽引に使用する車両の駐車ブレーキが掛かっていることを確認する。機体が動き出さないように、前輪に輪止めを掛ける。

重要 内部トランスミッションを保護するために、牽引または押して移動する時の速度は、35km/h 未満としてください。

対象となるシリアル番号のマシンを牽引する場合

以下の手順で、前ホイールモータのディスクブレーキを解除する

1. 前輪に輪止め掛ける。
2. モアの前部にある牽引用のアイを使用してモアと牽引車両とを、頑丈な牽引バーで相互に接続する。
3. 右前ホイールモータを探し出す。カバーを外した時に内部に異物が侵入しないように、[図 1](#)に灰色で示す部分についているごみやほこりを十分に落とす。



g282315

図 1

1. ここをきれいにする。

4. M6 六角ビットを使用して、エンドカバーボルトを[図 2](#)に示す順序でゆるめる。星形のパターンで、各位置のボルトを1回転ずつ順番にゆるめていく。この順序で、12本全部のボルトをそれぞれ2回転ゆるめる。



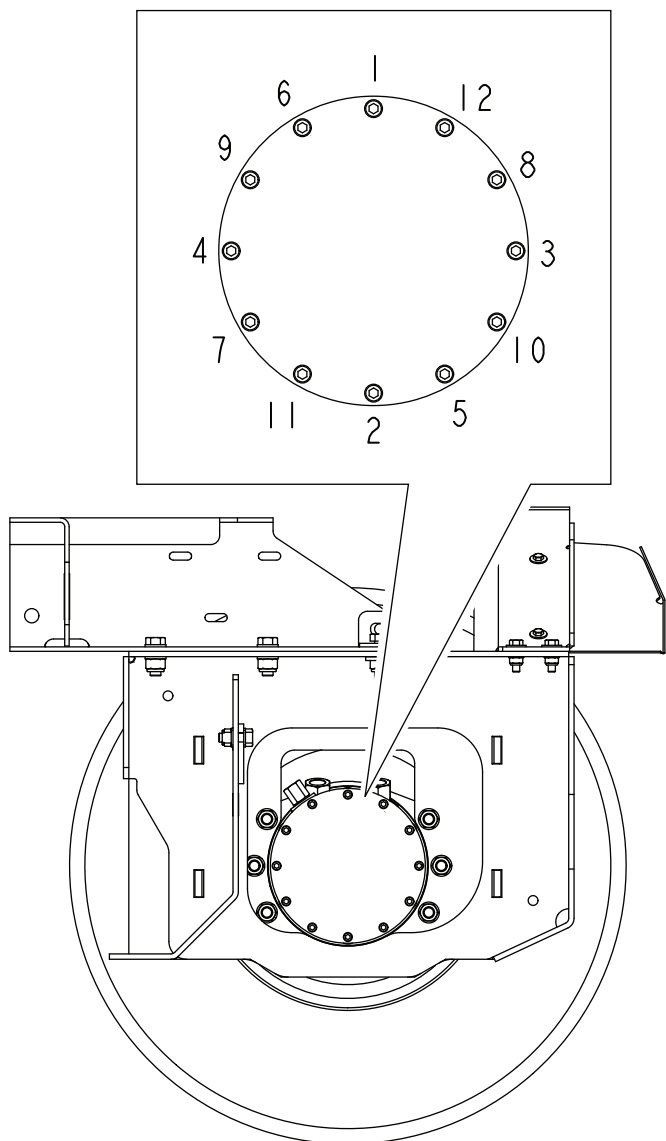
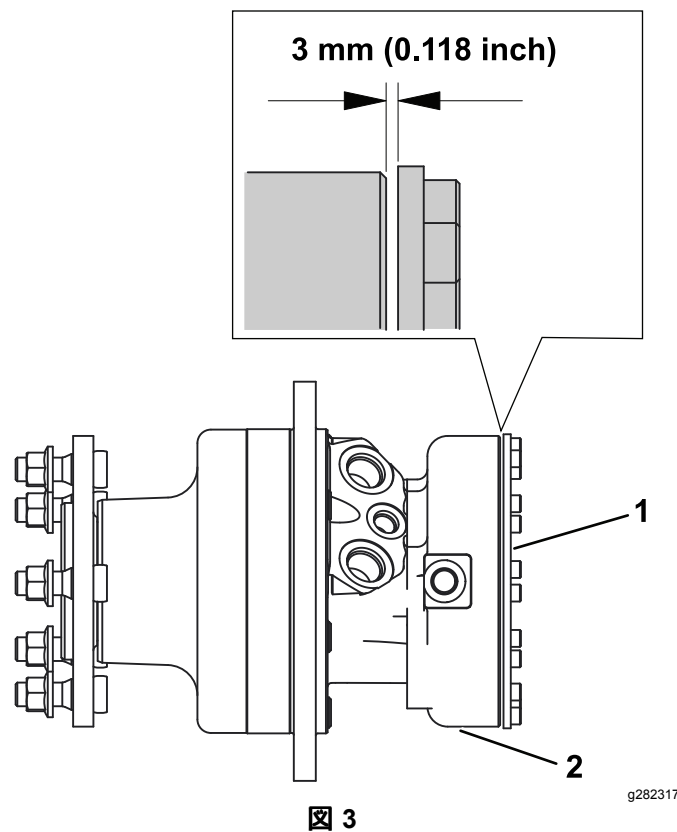


図 2

g282316

5. エンドカバーとブレーキハウジングとのすきまが約 3 mm になるとブレーキが解除される 図 3 を参照。



g282317

図 3

1. エンドカバー 2. ブレーキハウジング

6. 左前のホイールモータについても上記の作業を行う。
7. トランスミッションポンプの下側についているバイパスバルブを左に回して3回転以内、油圧常用ブレーキを解除する 図 4。

注 牽引中のハンドル操作は油圧なしの手操作となります。エンジンが停止されており、油圧アシストがないのでハンドル操作は重くなります。

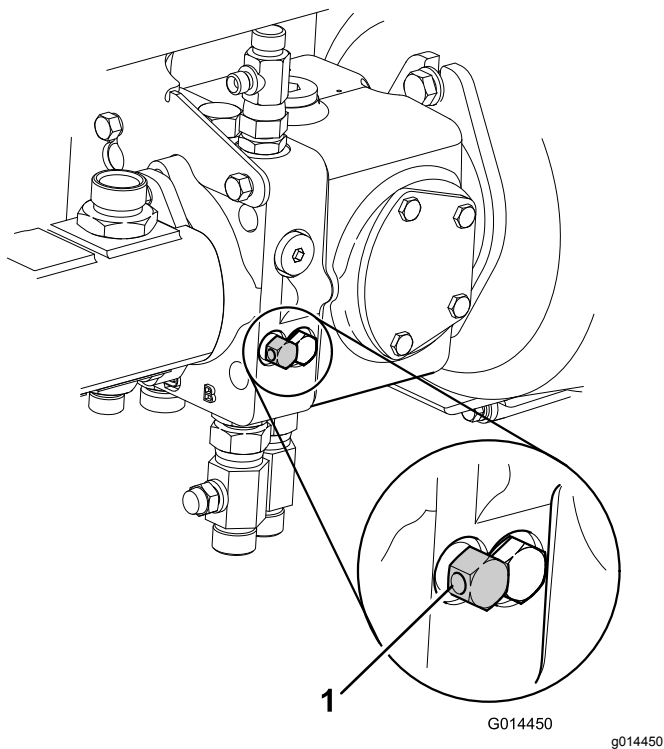


図 4

1. トランスミッションバイパスバルブ

注 以上ですべてのブレーキがはずれた状態となり、短距離を低速で牽引することができます。

8. 機体から輪止めを外して牽引を開始する。

通常運転用の設定に戻す手順

1. 前輪に輪止め掛ける。
2. トランスミッションポンプについているバイパスバルブを右方向に回して閉じる。
3. 以下の手順により、モアの前輪ディスクブレーキを作動可能に戻す

重要 エンドカバーをゆるめておいた間に異物が入り込んでいないか入念に点検する。

- A. M6 の六角ビットとトルクレンチを使用して、エンドカバーの各ボルトを星形の締め付けパターンでそれぞれ 14-16 N·m 1.4-1.6 kg·m = 10-12 ft·lb にトルク締めする [図 2](#) を参照。
- B. エンドカバーとブレーキハウジングが面一になっていることを確認する。
- C. 左右の前ホイールについてこの作業を行う。
4. タイヤの輪止めを取り外す
5. 牽引バーを取り外す。

注 以上で、ブレーキシステムが通常に戻りました。



Count on it.